

2022年度 第1回 OB会各代幹事会 議事録

- 日時 2022年11月28日(月) 19:00~21:00
- 場所 アリスアクアガーデン田町
- 参加者 牛場(1) 三矢(4) 池田(7) 松村(8) 斎藤(10) 岩田(11) 品田(13) 青木(17) 奥田(19)
玉井(20) 腰高(23) 初見(24) 杉浦(26) 荒木(33) 松尾(45) 山田(52)

■報告事項

1. 現役活動報告(青木) 連盟戦、就職活動状況の報告があった。
2. 年会費収納状況報告(荒木) 資料に基づき、報告があった。
3. SO活動報告(岩田) 本年度の活動状況につき報告があった。
4. ANW活動報告(斎藤) コロナ禍で停滞していた活動の、復活に向けての報告があった。

■協議事項

1. OB総会の開催について

杉浦：2023/3/18(土) 12:00~ @アリスガーデン田町でOB総会を実施したい
⇒一同賛成、決議

<以下発言録>

岩田：コロナにより万が一総会を実施できなくても、承認事項だけは決議すべき

杉浦：OB総会のリアルでの開催可否判断は事務局に一任してほしい

2. 今後の「銀杯」の取り扱いについて

杉浦：検討のきっかけは3点。

- ① 今まで発注をお願いしていた20期鈴木さんの三越(社員割引)ルートがなくなった
- ② 大幅な値上がり
- ③ 最低発注ロットと必要数が合わない(→解消済)

まず、2023年3月卒業生については従前の通り続けるとし、2024年3月卒業生以降の議論としたい
⇒一同賛成、決議

メールで意見を募り、7名から意見有。過半は川先の心意気や伝統を続けたい。一部では新しい形を検討すべきとの声も。一番若い代が24期で25期以降は意見なし(川先を知る代の意見に集中)

<以下発言録>

初見：そもそも何かは別のものを贈る前提なのか？それとも何も贈らない選択肢も有？還暦祝いを通じて同期全員が集まることができた。何かしらは贈るべきだと思う。

腰高：何も贈らないというのも選択肢。

三矢：(配布された「銀杯」の謂われについて) 補足したい。川先が「還暦のときに銀杯を持って集まってほしい」という思いがある。ものはなんでも良いかもしれないが、ぜひ卒業生にものを贈るのは続けてほしい。

玉井：一番のポイントは値上がりなのか？今いくらなのか？

腰高：17 千円→24 千円→30 千円と値上がりしているが、値上がりはあくまで検討のきっかけ。

玉井：銀杯は川先を知らない人には思いが伝わらない可能性がある。銀杯よりもほしいものがあるなら、他のものでもよいかもしれない。

松村：楽籠は他の同好会とは違う。銀杯は高校・大学と苦労した7年間の集大成として贈られるもの。銀杯は「心の余裕」の印。OB 会入会の印。一生の仲間の証。

若い人が銀杯についてどう考えているのか知りたかったが、意見がでていないのは残念。

松尾：楽籠のつながりは一番の魅力だと思うが、何かものに縛られる必要はない。そもそも同期で銀杯の話題が出たこともない。卒業生が話し合っただけで何がほしいか決めるのも良いのでは？それが卒業後の絆を深めることにもつながると思う。

杉浦：「銀杯」の謂われについて、伝える側と受け取る側のミスマッチはないか？

岩田：「銀杯」の謂われは銀杯を渡す時にしっかり伝えてきたのか？伝えていないなら渡す意味はない。

杉浦：川先を知らない世代が伝えようとしても伝わらない。そもそも「伝統は守るべからず」という言葉もあり、伝統に縛られる必要はないのでは？

玉井：「銀杯」の謂われの内容がイマイチだから伝わらないのでは？内容を見直し、しっかりと伝統を伝えていくべき。

奥田：伝統は語ってつなぐもの。銀杯に拘らなくても、卒業生が望むものを贈るのもよいのでは。

初見：自分は川先を直接知らない代であり、直接知る代との隔たりを感じていた。川先の思い出ある銀杯をもらった時は嬉しかった。しかし今の若い世代は身近な先輩に川先を知る人もおらず、伝わらないのも無理はない。

牛場：ぜひ銀杯は続けてほしい。銀杯を送るだけでは川先の心意気は伝わらない。川先の本と謂われと一緒に渡すことで伝えられると思う。川先は楽籠の「福澤先生」。思いや心意気を伝えていってほしい。

松村：銀杯は1期から唯一途切れずに繋がっているものだから続けてほしい。

玉井：銀杯は楽籠 OB 会の身分証明書のようなもの。みんなが持っていることに意味がある。やめたいという意見があるなら代替案を出すべき。

腰高：「今まで続けてきたから続ける」というのは理由にならない。楽籠の一番の良さは一生の友達であり、銀杯に縛られることはないのでは。

松尾：今日の議論で銀杯の謂われがよくわかった。事務局に入らなければここまで知ることはなかっただろう。現役にもしっかりと銀杯の謂われや伝統を説明した上で、銀杯がほしいならあげればよいし、いなければ他のものをあげるのも良いのでは？

腰高：「大好き反対は、反応が無いという無関心」。

本日欠席の神島さんの意見としては、意見を聞くためには一度アンケートをとってみてはどうか。

松村：謂われが伝わっていない段階でアンケートをとるのはリスクがある。

もし値段が理由なのであれば、安く作れる(23 千円～24 千円)ところを見つけているので、相見積もりをとって検討しては？

杉浦：2023 年 3 月卒業生分は今まで通り手配する。今回結論は出ないので、今後議論をしていきたい。

以上